

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究抄録(2022.4)令和2・3年度:65

コロナ禍での臨床における新人教育の実際

井戸川みどり

## コロナ禍での臨床における新人教育の実際

旭川医科大学病院 看護部 井戸川みどり

2020年度の新型コロナウイルス感染症の拡大は、これまで当たり前として行ってきた新人教育の見直しを迫られた。そこで、看護部の教育方針である「患者の個別性を尊重した質の高い看護を主体的に実現し提供できる看護師を育成する」を目指し、コロナ禍で変化した新人教育について紹介する。

### 【新人教育の変更点】

今年度の新人教育は、感染防止と昨年度の臨床実習が十分に経験できなかった教育背景を踏まえ、研修の方法と内容、OJTとOFF-JTの連携強化について見直した。研修方法はこれまでの集合型から複数の会場で行う分散型とし、演習やグループワークは少人数で実施している。さらに技術研修では予め看護技術の動画を視聴後、演習を対面で実施することで研修時間の短縮を図った。内容では、患者や医療者とのコミュニケーションに関して、社会人基礎力や臨床での対応場面について動画を用いた講義や意見交換を追加した。さらにこれまで専従の教育担当者が現場に出向き看護過程のサポートを実施していたが、看護技術や部署研修をサポートする体制を追加し、新人看護職員の不安の軽減とOJTとOFF-JTの連携を強化している。

### 【新人教育の実際】

看護技術研修では、研修期間を4月～5月の2か月間から6月までの3か月間に変更した。分散型で実施する影響もあるが学びを振り返る期間を得られると考える。研修では新人看護師3～4名に部署の教育担当者1名が指導している。静脈注射留置針研修では、予め作成した動画を研修日までに視聴し、知識を確認しながら演習を実施した。その結果、演習時には実施時の留意点など理解状況を確認し不足分を補う、より効果的な研修となった。

専従の教育担当者のサポートでは、不安な技術を再度確認する他に現場で困った事例などの振り返りを行い、部署へ結果をフィードバックしている。部署と専従の教育担当者の双方が新人看護職員の状況、課題を共有しOJTとOFF-JTでの支援につながっている。

### 【今後の課題】

臨床の雰囲気、患者の反応や看護師の対応、報告連絡相談は、臨床での経験が重要である。次年度は今年度以上に臨床実習を経験できなかった新人看護職員が増加することが予測される。効果的な研修のあり方とともに、新人看護職員の教育背景と強みを理解し、指導できる看護師の育成と支援体制が必要である。